

## 第2回中野市保育所あり方検討懇話会会議録（要旨）

日 時	令和2年7月13日（月） 14:00～15:30
会 場	会議室 52
出席者	<p>小林芳文委員、片所年子委員、樺澤一夫委員、小野良一委員、宮澤栄一委員          中嶋祐子委員、松矢美知委員、町田真里子委員、黒岩文子委員、富岡幸子委員          10名（欠席：岡村将翔委員、高木さやか委員）</p> <p><b>【事務局】</b>          子ども部長 小林由美、保育課長 戸田修三、課長補佐兼保育係長 堀米一志、          施設係長 豊田正樹、施設係 高藤直樹 5名 計15名</p>
内 容	<p>開会</p> <p>第1回開催から期間がたち、委員の交代もあったことから、各委員、事務局が自己紹介</p> <p>・協議事項          保育所の適正規模等について</p> <p><b>【事務局】</b>          データやアンケートの結果からみた中野市の現状を説明</p> <p>保育所のあり方に関するアンケート、施設整備計画、前回の提言書の概略を説明</p> <p><b>【委員】</b>          長丘保育園について、ひらおか保育園が新たに建設されたが、長丘保育園との距離も近く、また、長丘地区の子どもが長丘保育園を利用していない現状で、今後、長丘保育園はどうなるのか。</p> <p><b>【事務局】</b>          今後の園児の減少を考慮し、検討をしていく。</p> <p><b>【委員】</b>          長丘保育園については、財政が逼迫している時に、改築するメリットも含めて、地域の方々の声がわかるようなアンケートにできれば良い。          適正規模については、一概には言えない。</p>

**【事務局】**

適正規模について、現場の声としてはどうか。

**【委員】**

安全面、子ども同士の関わりといった観点からすると一概には言えない。

**【委員】**

地域ごとの良さもあり、大きい園の良さもあり、また、危険もある。

**【委員】**

少数であれば、安全面は安心できる。

**【委員】**

どちらも、良い面、悪い面がある。

保育園と学校と一緒に学習できるような体制を整えられれば、子ども、地域にとっても良い。

地域、保護者の声をききながら、方法をさがしていければ良い。

**【事務局】**

少人数の園には、2、3歳が混合している保育もある。

混合クラスの是非をアンケートできいてはどうか。

**【委員】**

全国的に異年齢保育を積極的にとり入れている園も多い。どういう保育をするかが大切である。

**【事務局】**

規模の違いがある保育園から学校に上がる心配もあると思う。

**【事務局】**

多くの意見が得られるアンケートとしたい。

**【事務局】**

保護者がどんな条件で、園を選んでいるのか、今回のアンケートで把握したい。

**【委員】**

保護者は、混合保育をご存じだし、仕事の関係で地区外の園を選んでいる方がほとんどである。

保育の内容についてアンケートをとるのは、今回の趣旨と違うと思われる。

**【委員】**

民営化すると、お金は少なくて済むのか。

**【事務局】**

市の持ち出しが少なくなるということです。

**【委員】**

市も民間も同じような保育ができるような状況をつくっていければと考えます。

**【事務局】**

民間はサービスの充実、先進的な取り組みもしていると思われる、市の財源を私立園にもまわしていければと考えており、賃金の面でも改善をしていかなければいけないと思っている。  
ご意見を聞かせていただきたいと思う。

**【委員】**

待機児童は、民営化や統合により、今後、改善されていくのか。

**【事務局】**

現時点では解消されている。  
4月からの小規模保育事業所の開設、職員の処遇改善により解消された。  
民営化のメリットとしては、市の保育士確保がなくなり、民営化によりあまった人材を、他の公立園に回すことで、待機児童の解消につながると考えます。

**【委員】**

産休明けの児童はみな民間で受けるということですか。

**【事務局】**

現在、小規模保育事業所で受けているが、小規模保育事業所もいっぱい状況のため、これから産休明けの児童については、公立でも受けていく予定。

**【委員】**

公立、私立ではなく全体のサポートをお願いしたい。

**【委員】**

アンケートについて、公立だけでなく、私立にも実施してもらいたい。

**【事務局】**

再度、案をつくるので、ご意見をいただきたい。

**【委員】**

方向性が浮き彫りになるような項目を検討し、改正案を見させていただきたい。

**【委員】**

先ほどのアンケートで保育所よりも幼稚園を増やしてほしいという項目があるが保育園でも教育的なことは、入ってきている。

保護者がなぜ幼稚を望んでいるのか、そういう部分も把握できる良い。

**【委員】**

保育園は保育、幼稚園は教育という考えは、もう古い。

**【委員】**

中野市の幼稚園は、都市部に比べて、特色がない。

**【事務局】**

11 園の運営は厳しいですが、保育サービスのニーズに応えるため、市民にとっても、市にとっても良い方法を検討し、待機児童も出さず、兄弟姉妹で別の園も解消したい。

**【委員】**

保育園に限った話ではなく、市全体の予算の中で、どこにお金をかけるのか、それを含めて考えないといけない。

**【事務局】**

アンケートを集計し、皆様にご示したい。また、適正配置の項目も、もうけたい。

**【事務局】**

次回、開催日は8月19日（水）とする。

閉会